

令和2年度の入学生・保護者の皆様へ

異例の春となってしまいました。本来ならば、直接お祝いの言葉を伝えたいところではございますが、残念ながら叶わない状況ですので、書面にて失礼いたします。新中学生に向けてのメッセージになりますので、お子様にもご一読いただけたら幸いです。

2008名の新入生みなさん、ご入学おめでとございます。横川中の制服にそでを通した気分はいかがですか？成長した自分を感じているでしょうか？気持ちも新たに、今日から中学生としてスタートです。これから始まる学校生活への期待も不安もあると思いますが、積極的に期待の高まる生活を送りましょう。中学校の3年間は一瞬です。ですから、どんなに学びましょう。学びとは、学習だけを指すわけではありません。気づきのあるものすべてです。授業はもちろん、部活動、掃除や生徒会の活動、家での生活も含め、あなたの生活のすべてが学びの場です。君たちの通う横川中学校には、日々の生活の行動目標となるスローガンがあります。それが“自立と貢献”です。それを体現してください。

これからさまざまな問題や難題が出てきます。それらをネットの情報だけに頼り、問題解決をするのではなく、大いに悩み迷い、苦しんで自分の体で知り、気づき、深い理解を得てください。そこから周りの人に良い影響を与えてください。

このことを腑に落ちるといいます。これは自分の五感を使って、とことん突き詰めた状態だと私は思っています。

腑に落ちるまでには段階があります。

- ① 言葉で知る
- ② 知識として頭でわかる
- ③ 自分でやってみる
- ④ できるようになる
- ⑤ 人に教えてあげる

です。何事にも興味を持ち、取り組み、結果が出た時に本当の“わかった”の意味がわかります。自分の身になる経験を積み重ね吸収し、自立とは！貢献とは！と、あなたをみて、周りの人が称賛するような生徒になってください。自分だけ“わかった”だけでなく、みんなと分かち合ってください。全員がこれができるようになれば、みんなの学力も体力も心も格段に成長するはずです。

中学校の3年間、これまで以上にいろいろな出来事が増え、毎日が忙しくなります。辛いこともあるでしょう。それを乗り越えるのには友の存在は重要です。お互いに刺激し、助け合いながら成長し、乗り越えてください。

わからない事、出来ない事はそのままにしない、わかるまで、出来るまでやり抜きましょう。日々、一日が一生です。人は、毎日生まれ変わります。毎日反省し、改善することを繰り返せば、今日できなくても、明日はきっとできるようになります。腑に落ちます。あなたのそばには多くの友がいます。その友たちと大いに遊び楽しみ、そして学ぶことを忘れずに中学校生活を満喫してください。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学おめでとございます。心よりお祝い申し上げます。また、お子様の新生活とともに、保護者の皆様におかれましては、PTA活動に積極的に参加していただきますよう、この場をお借りしまして、お願い申し上げます。子供の数が600名を超える大きい学校だからこそ、保護者の皆様一人ひとりの活動協力が子供たちの学校生活の質の向上に必要不可欠で重要なものとなっております。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びになりますが、鈴木校長先生をはじめ、教職員の皆様、これからの3年間、心身ともに健やかな青少年に成長しますよう、ご指導をよろしくお願い申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和二年四月九日

宇都宮市立横川中学校PTA会長 宮本 俊一